

児童一人一台の情報端末環境がある小学校55校(※)の教職員に対するアンケート調査(回答数717)の結果に基づき、児童用コンピュータ及びインタラクティブ・ホワイト・ボードに必要な機能を分析。

児童用コンピュータ

- フリーズしないこと、フィルタリング、バッテリー容量、安定した無線LAN等、日常的に使用する際の基本的機能の必要度が高い。
- 低学年担任ほど見やすいアイコンやペン機能等、児童の使いやすさを重視し、高学年担任ほど安定したネット環境・高速画像転送・共有書き込み・キーボード等、ネットワーク利用に関する機能を重視している。
- 毎日使わせている教員ほど、ネット共有・高速動画転送、安定無線LAN等、協働学習場面での機能を高く支持。

まとめ

動作の安定性やセキュリティに係る機能の必要度が高い。低学年では児童の使いやすさに関する機能、高学年ではネットワーク利用に関する機能が必要とされる。

インタラクティブ・ホワイト・ボード

- 映り込み防止、不要描画の防止、画面堅牢等、道具としての機能の必要度が高い。
- 低学年担任ほど移動の簡便さに、高学年担任ほど内蔵スピーカー、領域拡大・縮小、児童画面の転送等、IWB本来の機能や協働学習に用いる機能に必要性を感じている。
- 画面の大きさは60インチ以上が望ましいとの声が多かった。

まとめ

映り込み防止や画面の堅牢さ等、ハードウェアとしての機能の必要度が高い。高学年ほど領域拡大・縮小や画面転送等、IWBとしての本来の機能が必要とされる。